

## ICT を活用した発達障害支援専門職研修課程（特定研修生）の開設

学院 児童指導員科 関 剛規、川淵 竜也

## 【はじめに】

学院児童指導員科（発達障害支援者養成）では、令和元年度から発達障害支援専門職研修課程（特定研修生）を開設した。令和2年度からは、ICT を活用したプログラムを導入し、遠隔授業（オンラインおよびオンデマンド）での参加も可能とした。ICT を活用した発達障害支援専門職養成課程（特定研修生）開設の経過と現在の実施状況について報告する。

## 【経過】

児童指導員科では、応募数が定員数を大幅に下回る状況が続いている。そのため、学生数の充足に向けて、カリキュラムの内容を見直し、現職者を対象とした発達障害に関する学習ニーズについて聞き取りなどを行ってきた。その結果、保育や教育、障害児支援の現場では発達障害に関する学習ニーズは高く、学習機会や学習時間がとれない状況があることが明らかとなり、現職者が働きながら学ぶことができる環境の整備を進めることとした。双方向型であること、体系的に学べることを念頭におき、現職者を対象としたカリキュラム内容を検討した

児童指導員科の1年間のカリキュラムは、前期の専門基礎分野（教養、社会福祉論、社会福祉制度、医療福祉論、障害福祉論、専門基礎演習）と後期の専門分野（発達障害福祉論、発達障害支援論、発達障害演習、事例研究、見学・実習、特別講義、特別研究）の2つの分野から構成されている。開設した研修課程では、この1年間のカリキュラムのうち、後期の専門分野を中心にカリキュラムを整備し、発達障害に特化した授業や演習などを実施することとした。

## 【成果と課題】

令和元年度特定研修生は通いによる対面授業だったが、学院に ICT 環境が整備された令和2年度特定研修生は遠隔授業となり、全員が働きながら学んでいる。双方向授業の調整や演習方法の進め方、オンデマンド授業との組み合わせなど、今後改善すべき課題も少なくない。しかしながら、学習方法の1つとして有効であり、今後も効果的に活用していきたいと考える。

## 発達障害支援専門職研修課程（特定研修生）の概要

- 【受講資格】・発達障害支援に携わる医療、教育、福祉分野における現職者  
・所属長からの推薦がある者
- 【定 員】 6名
- 【研修期間】 9月1日～3月31日
- 【選考方法】 研修計画書に基づいた面接
- 【選 考 料】 なし
- 【研修費用】 教材費（実費負担）